
「局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法の後ろ向き研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの臨床情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007 年 04 月 01 日から 2024 年 12 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科を受診し、非小細胞肺癌と診断され、化学放射線治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

本研究は、局所進行非小細胞肺癌に対して行われる標準治療である「化学放射線療法（CCRT）」の効果や副作用について、過去に当院で治療を受けられた患者さんの診療情報をもとに解析するものです。近年、CCRT 後に免疫チェックポイント阻害薬「デュルバルマブ」を追加投与する治療が導入され、従来の治療に比べて生存期間の延長が期待されていますが、再発のパターンや副作用の特徴については十分に明らかになっていません。

本研究では、デュルバルマブ導入前後の治療成績を比較し、有効性や安全性を検証するとともに、年齢や病状などの背景因子、放射線治療の方法との関連も調べ、今後の最適な治療方針の確立に役立てることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 05 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約 1 か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

当院での診療記録、放射線治療の情報（照射された部位、腫瘍の大きさ、全生存率、局所制御率、再発形式、無再発生存率）を用います。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科において、研究責任者である斎藤 哲が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

非小細胞肺癌と診断され化学放射線療法が施行された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 斎藤 哲（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 斎藤 哲

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法の後ろ向き研究

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 斎藤 哲